

ドイツゲームのご案内

2017年12月より導入開始！

あくしすでは、昨年の12月より事業所内での「遊びの質」や、「お友だちとの関わり」を深めるために、兵庫県ドイツゲーム普及協会よりドイツゲームの導入を始めました。

ドイツゲームってなに？

ドイツゲームとは、世界各国で遊ばれている「非電源ゲーム」です。皆さんがご存知の「オセロ」や「トランプ」などもその一つです。ドイツではこの「非電源ゲーム」が大変親しまれています。普及協会ではそれらのゲームを「ドイツゲーム」と呼んでいます。



子どもたちの変化

導入にあつての理由



日常的にDSやテレビゲームで、画面を通して主に1人で遊ぶゲームを楽しむ子ども達が多いなか、あくしすに来て下さる子ども達には、お友だちと関わりの持てる遊びを通し、①「遊びから学び」を得て頂くことや②放課後などの余暇が充実した時間となって欲しいなどと考えております。

注意力・集中力がUP！！

ルール説明を聞く集中力が向上したことで、ゲームを楽しむことが出来ていると思います。ルールを理解し、楽しむことで「またしたい！」という気持ちに繋がり、その他のゲームにも興味を持つ子ども達が増えました。また、「僕・私には少し難しいかも」という気持ちになられている子ども達に関しても、お友だちが楽しそうに遊んでいる姿に興味を持ち、自然とテーブルに集まり、いつの間にか「面白そう！」という気持ちになっている姿も見受けられます。



主体性・参加意識の芽生え

レンタル当初は、職員から子ども達へ声をかけて遊ぶことが多かったのが、今ではお友だちを誘い、「〇〇がしたいから出してください。」と職員へ声をかけてもらえるようになりました。職員が状況を見て一緒に遊ぶこともありますが、ルールの理解が十分だと判断した場合は、その場を離れて見守ることも増えました。子ども達の主体性や、楽しそうだからやってみたい！という参加意識が向上したように感じます。

お友だちとの関わり方

ボードゲームは必ず他者との関わりが必要です。ゲーム中にサイコロを振る順番などを子どもで「次は〇〇君だよ。」など声に出しながら、サイコロを渡す場面が増えました。ゲーム中にお友だちの名前を呼んだり、応援する姿も見受けられます。

